

富山高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	地域イノベーション論	
科目基礎情報							
科目番号	0037			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	国際ビジネス学専攻			対象学年	専2		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	資料を配布する。						
担当教員	清 剛治						
到達目標							
①地域イノベーション・システムについて端的に説明できる。 ②地域社会構造についてシステム思考的に俯瞰できる（講義内で明確化）。 ③我々が社会生活を営む「経済地域」の視角から、国際化に対峙する日本人が意識すべき、グローバルーローカルの関連性を認識・理解できる。 ④世の中で起きている不確実な社会現象等について、自らの考えを述べることができる ⑤他人の意見に対し、自らの意見を論じていくことができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	地域社会構造についてシステム思考的に正確に俯瞰できる。		地域社会構造についてシステム思考的に俯瞰できる。		地域社会構造についてシステム思考的に俯瞰できない。		
評価項目2	グローバルーローカルの関連性を正確に認識・理解できる。		グローバルーローカルの関連性を認識・理解できる。		グローバルーローカルの関連性を認識・理解できない。		
評価項目3	世の中で起きている不確実な社会現象等について、正確に自らの考えを述べることができる。		世の中で起きている不確実な社会現象等について、自らの考えを述べることができる。		世の中で起きている不確実な社会現象等について、自らの考えを述べることができない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	グローバル社会において、いかにしてローカルな競争優位を成すかを多面的に考えていくことを目的としている。それは、我々が社会生活を営む「経済地域」の視角から、国際化に対峙する日本人が意識すべき、グローバルーローカルの関連性を認識・理解することにもつながっているものである。						
授業の進め方・方法	本講義においては、事前に提示する課題を学生がこなし報告することで理解度を高める。この課題は翌週の講義とリンクしており、一種の反転教育的に、理解を深化させる構成で実施する予定である。また、現代社会の動向を抑えておくことが必要なため、新聞や経済雑誌などの情報に随時、触れておいてほしい。						
注意点	上述の課題に基づく学生側からの報告が講義の基盤となるので、必ず準備して臨むこと。その意味では極めてハードな講義となるのだが、身につく力量は深化される。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	地域イノベーション・システムとは		本講義の意義と全体概要		
		2週	導入講義：「成熟の経済」と「グローバル化」		日本の地域社会がおかれた現況が理解できる。		
		3週	経済地域とグローバル・エコノミー		経済地域概念をグローバル経済の視角から理解できる。		
		4週	グローバル経済圏と国際摩擦		グローバルな地域間競争と国際摩擦について理解できる。		
		5週	不況脱出への経済政策		国民経済内部の地域に対する国家政策の重要性が理解できる。		
		6週	成長・発展へのイノベーション創出		地域経済発展を成し遂げるイノベーション理論が理解できる。		
		7週	地域産業クラスター		域の「競争力」を強化する「場」のメカニズムが理解できる。		
		8週	競争優位な地域システム①：米のハイテク・コンプレックスを事例として		地域ネットワーク型産業システムが理解できる。		
	4thQ	9週	競争優位な地域システム②：創業のダイナミクス		国を事例とし、地域における事業創造について理解できる。		
		10週	技術連携の地域システム		新しい地域産業を生み出す産学官連携の仕組みと効用について理解できる。		
		11週	域学連携教育の地域システム		サービスラーニングと地域社会への効用について理解できる。		
		12週	グローバル人材獲得競争		グローバルな人材流動が、地域に大きな影響を与えるということが理解できる。		
		13週	企業競争優位の源泉		地域の競争優位への参考となる企業行動の理論と実際が理解できる。		
		14週	ニッポンは勝ち残れるか：激突 国際標準競争		グローバル社会における国家と地域の競争優位の獲得への現実が理解できる。		
		15週	まとめ		全体を振り返り、理解の深化を図る。		
		16週	期末試験		最終レポート		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	100	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	80	0	0	0	0	80

專門的能力	0	20	0	0	0	0	20
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0